

. 調 査 概 要

1 . 調査の目的

この調査は、市民の生活実態や生活環境に関する意識、および市政に対する要望など、市民生活全般にわたり市民の意識を聴取し、今後の行政施策の基礎資料とすることを目的とした。

2 . 調査項目

- (1) 暮らしやイメージ、地域活動
- (2) 生活環境と望まれる施策
- (3) 環境問題について
- (4) ボランティア活動
- (5) 「ていーろーど」について
- (6) 防災意識について
- (7) 情報化について
- (8) 市政とのかかわり・施設の利用について
- (9) 健康・スポーツ・芸術文化活動について
- (10) 人権問題について
- (11) 属性（性別等）
- (12) 市への意見、要望

3 . 調査設計

- (1) 調査地域 入間市全域
- (2) 調査対象 市内在住の満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標 本 数 2,900 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布 - 郵送回収）
- (6) 調査期間 平成 17 年 10 月 17 日～11 月 4 日

4 . 調査実施機関

入間市（企画部広報広聴課）

5 . 公表方法

- (1) 入間市市民意識調査報告書
- (2) 入間市市民意識調査（ダイジェスト版）リーフレット
- (3) 「広報いるま」掲載（概要）
- (4) 入間市公式ホームページ（概要）

（<http://www.city.iruma.saitama.jp/>）

6 . 回収結果

(1) 発 送 数 2,900 (100.0%)

(2) 有効回収数 (率) 1,724 (59.4%)

有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

表 1 居住地区別・有効回収数と回収率 (人口は 20 歳以上)

	人 口	発 送 数	有効回収数	回収率 (%)
合 計	120,140	2,900	1,724	59.4
豊 岡地区	44,878	1,083	558	51.5
東 金 子地区	14,397	351	199	56.7
金 子地区	8,466	203	127	62.6
宮寺・二本木地区	8,855	209	126	60.3
藤 沢地区	26,198	635	410	64.6
西 武地区	17,346	419	253	60.4
(地区不明)			51	

図 1 市内地区区分図



7. 集計

7 - 1 . 分析軸として用いた属性項目とその基数

表2 性別

	人 口	比率 (%)	基 数	比率 (%)
合 計	120,140	100.0	1,724	100.0
男 性	59,701	49.7	732	42.5
女 性	60,439	50.3	914	53.0
(無回答)			78	4.5

表3 年齢別

	人 口	比率 (%)	基 数	比率 (%)
合 計	120,140	100.0	1,724	100.0
20 ~ 24 歳	9,527	7.9	90	5.2
25 ~ 29 歳	10,056	8.4	97	5.6
30 ~ 34 歳	11,980	10.0	144	8.4
35 ~ 39 歳	10,653	8.9	117	6.8
40 ~ 44 歳	9,617	8.0	123	7.1
45 ~ 49 歳	9,368	7.8	130	7.5
50 ~ 54 歳	11,526	9.6	189	11.0
55 ~ 59 歳	13,264	11.0	204	11.8
60 ~ 64 歳	10,951	9.1	205	11.9
65 ~ 69 歳	8,357	7.0	168	9.7
70 歳 以上	14,841	12.4	185	10.7
(無回答)			72	4.2

表4 性・年齢別

		人 口	比率 (%)	基 数	比率 (%)
	合 計	120,140	100.0	1,724	100.0
男性	20 ~ 29 歳	9,901	8.2	68	3.9
	30 ~ 39 歳	11,772	9.8	116	6.7
	40 ~ 49 歳	9,611	8.0	101	5.9
	50 ~ 59 歳	12,380	10.3	181	10.5
	60 ~ 69 歳	9,747	8.1	179	10.4
	70 歳 以上	6,290	5.2	87	5.0
女性	20 ~ 29 歳	9,682	8.1	119	6.9
	30 ~ 39 歳	10,861	9.0	145	8.4
	40 ~ 49 歳	9,374	7.8	151	8.8
	50 ~ 59 歳	12,410	10.3	212	12.3
	60 ~ 69 歳	9,561	8.0	192	11.1
	70 歳 以上	8,551	7.1	95	5.5
	(無回答)			78	4.5

表5 居住地区別

	人 口	比率 (%)	基 数	比率 (%)
合 計	120,140	100.0	1,724	100.0
豊 岡地区	44,878	37.4	558	32.4
東 金 子地区	14,397	12.0	199	11.5
金 子地区	8,466	7.0	127	7.4
宮寺・二本木地区	8,855	7.4	126	7.3
藤 沢地区	26,198	21.8	410	23.8
西 武地区	17,346	14.4	253	14.7
(無回答)			51	3.0

表6 家族構成

	基 数	比率(%)
合 計	1,724	100.0
単 身	87	5.0
夫婦だけ	373	21.6
二世帯世帯(親と子)	1,012	58.7
三世帯世帯(親と子と孫)	158	9.2
兄弟だけ	3	0.2
そ の 他	10	0.6
(無回答)	81	4.7

表7 入間市居住年数

	基 数	比率(%)
合 計	1,724	100.0
生まれてからずっと	283	16.4
20年以上	718	41.6
10年以上～20年未満	350	20.3
5年以上～10年未満	170	9.9
1年以上～5年未満	124	7.2
1年未満	1	0.1
(無回答)	78	4.5

表8 前居住地

	基 数	比率(%)
合 計	1,363	100.0
川越市・所沢市・ 飯能市・狭山市	426	31.3
その他の 埼玉県内の市町村	137	10.1
東京都内23区	256	18.8
東京都下の市町村	309	22.7
その他	190	13.9
(無回答)	45	3.3

表9 職業

	基 数	比率(%)
合 計	1,724	100.0
勤めている (パート含む)	851	49.4
自営している (家族の従業含む)	131	7.6
主婦(家事専業)	297	17.2
学 生	47	2.7
無 職	276	16.0
その他	6	0.3
(無回答)	116	6.7

表10 職場の所在地

	基 数	比率(%)
合 計	1,029	100.0
自宅と同じ	78	7.6
入間市内	300	29.2
川越市・所沢市・ 飯能市・狭山市	213	20.7
その他の 埼玉県内の市町村	68	6.6
東京都内23区	228	22.2
東京都下の市町村	103	10.0
その他	27	2.6
(無回答)	12	1.2

表11 住居形態

	基 数	比率(%)
合 計	1,724	100.0
持ち家(一戸建て)	1,124	65.2
持ち家 (中高層集合住宅)	313	18.2
民間の借家 (一戸建て)	40	2.3
民間の借家 (アパート・マンション)	80	4.6
公営・公団・公社の 賃貸住宅	55	3.2
社宅・寮・官舎	16	0.9
間借り・同居	23	1.3
(無回答)	73	4.2

7 - 2 . 集計結果の見方

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100% ちょうどにならず、1% の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数 N として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100% を超えることがある。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) n (Number of cases の略) は比率算出の基数であり、100% が何人の回答者数に相当するかを示す。
- (5) 集計は、単純集計、フェース・シートとのクロス集計、設問間のクロス集計の 3 種類を行った。
- (6) フェース・シートとして採用したものは以下の 8 項目である。これを全設問に対してクロス集計した。

性別 (問 35)	居住年数別 (問 38)
性・年齢別 (問 35 × 問 36)	家族構成別 (問 37)
居住地区別 (問 41)	住居形態別 (問 40)
職業別 (問 39)	定住意識別 (問 3)

- (7) 標本誤差について

今回の調査は、その調査対象となる母集団 (入間市全域に住む満 20 歳以上の男女) から一部を抽出した標本 (サンプル) の比率、平均、標準偏差などを調べ、これらの値から母集団の比率や平均を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じる。今回の調査における標本の抽出のような、単純無作為抽出法を用いた場合の標本誤差 (信頼度を 95% とした場合) は下の式により統計学的に求められる。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b : 信頼度 95% の標本誤差
 N : 母集団の大きさ (= 120,140)
 n : 有効サンプル (= 1,724)
 P : サンプルの回答比率

よって、今回の調査における標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表の通り求められる。

表 12 標本誤差早見表 (信頼度 : 95%、小数点以下第 2 位四捨五入)

回答の比率 (P) 基数 (n)	10% または 90%	20% または 80%	30% または 70%	40% または 60%	50%
1,724	± 1.4%	± 1.9%	± 2.1%	± 2.3%	± 2.3%
914	± 1.9%	± 2.6%	± 3.0%	± 3.2%	± 3.2%
732	± 2.2%	± 2.9%	± 3.3%	± 3.5%	± 3.6%
500	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%
200	± 4.2%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.8%	± 6.9%
100	± 5.9%	± 7.8%	± 9.0%	± 9.6%	± 9.8%